

## ～小さな乳癌を見つけ出せ～

当病院はマンモグラフィ（乳房X線写真）検診施設として認定されました

乳房X線写真のことをマンモグラフィと呼んでいます。乳房を撮影するには専用の撮影装置とフィルムを使用することが必要です。マンモグラフィにより、通常の乳癌はもちろん、しこりを触れないような早期の乳癌を見つけ出すことができます。しかし高い精度をもったマンモグラフィを撮影するのは容易ではありません。厚生労働省の研究班が全国24施設のマンモグラフィを評価したところ、13施設が「画質不良」などの理由で不合格とされました。（平成13年8月19日読売新聞）

そこで、マンモグラフィの画質や読影技術の向上を図るため、乳癌に関連する6つの学会より選ばれた委員による「マンモグラフィ検診精度管理中央委員会」が各施設のマンモグラフィを評価することになりました。当病院は厳しい審査基準をクリアし、平成14年8月1日付けで、マンモグラフィとしては申し分ないという最高評価を受けました。当病院を含め認定施設はインターネット上で公開されています。昨年、最新の乳房撮影装置導入



乳房X線撮影装置

を機に、画質の精度管理を続けてきた成果だと考えています。当病院では、同管理中央委員会が認定したマンモグラフィ読影医が診断しておりますので、安心して乳癌検診を受けていただきたいと思います。

外科診療部長 根岸 健  
中央放射線科技師長 大山 功

### 理 念

「愛ある医療、誠実な医療」

### 基本方針

- 1.患者さんの意思を尊重し、信頼される医療を提供します
- 2.地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます
- 3.関係機関と連携し、健全な病院経営に努めます

# ご存知ですか？「クリニカルパス」

患者さん： クリニカルパスって何ですか？

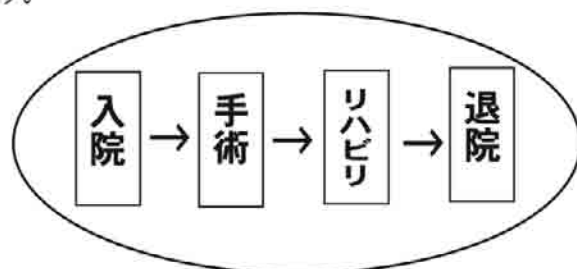
医師： それは、入院や手術の治療計画を示したもので、旅行の日程表みたいなものです。代表的な病気に対する入院から退院までの標準的な経過をクリニカルパスと呼びます。

患者さん： なぜクリニカルパスができたのですか？

医師： 旅行のときは、日程表を持って旅行にいきます。病気の場合も同様に予定をあらかじめ知りたいはず。患者さんやご家族に治療と治療後の経過を良く知ってもらい、みんなで力を合わせて病気と闘うことがクリニカルパスの目的なのです。さらに、患者さん用だけでなく医療従事者のクリニカルパスもあり、どの患者さんにも均一に質の高い医療を受けていただくことに努めることも目的なのです。

患者さん： クリニカルパスのとおりには必ず進むの？

医師： ひとりひとり個性があるように、病気にも少しずつ違いがあります。クリニカルパスには、あくまでも標準的な治療経過が書かれています。たとえ治療が遅れていても、なぜ遅れているのかを患者さんと相談して、治療に参加してもらうこともクリニカルパスの良い使い方なのです。



患者さん： クリニカルパスでいいことがあるの？

医師： クリニカルパスは、過去の患者さんの治療経過を分析して生まれたものです。患者さんを治療した経験からさらに進化したクリニカルパスに生まれ変わっています。その結果、クリニカルパスを使うことで、患者さんは早く退院できるようになったのです。

外科医長 保田尚邦



連載

心の健康

「秋の気配」



そろそろ肌寒い季節になりました。食べ物もおいしい、読書は進む、なかなか豊穣な時期なのですが、なんとなく物悲しいようなアンニュイな（死語ですか？）気持ちになる季節でもあります。ここ心療内科の外来がいつもより込み合うのも、この時期なのです。

気分（感情）障害の中で、冬になると決まってしまう病の症状がでてきてしまう、季節性感情障害（季節性うつ病、冬期うつ病）という病気があります。大体10月頃から気分がすぐれずゆううつになり、やる気がなくなり、翌年の2月頃になると改善するという季節限定の感情障害です。甘いものが異常に欲しくなる（炭水化物飢餓）、過眠、女性に多い、冬の日照時間が短い地域での発症率が高い、などの特徴があります。

「うつ病は薬で治る」、というのは今や常識となつていますが、この季節性感情障害の治療の第一選択は高照度光療法です。毎朝6〜8時間の間、治療用の光源で2500ルクス以上の強い光を浴びることで、気分が改善してきます。途中で止めてしまうと50〜60%の方で再発するといわれています。科学的な根拠は諸説あり確定していませんが、強い北風ではなく暖かい太陽がコートを脱がせた、という童話のように、強い光が心を温めて、「うつ」という名の重いコートを脱がせてくれる、そんなイメージを抱かせる治療法だと思えます。

（心療内科 医長 横川 新一）

## 常用自家発電設備 (コ・ジェネレーションシステム)

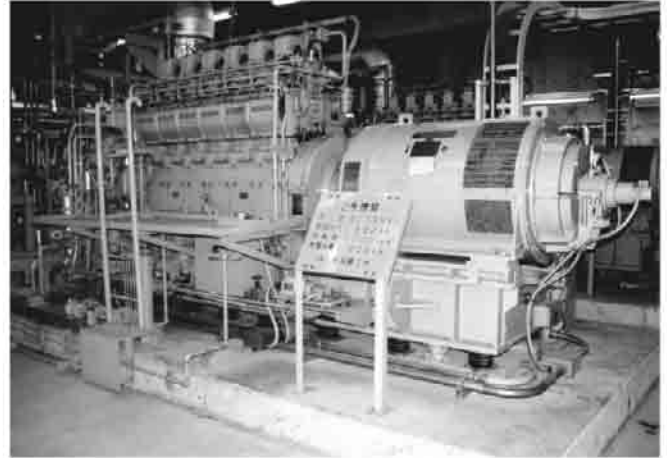
平成7年1月の阪神淡路大震災において水・電気等のライフラインの重要性を思い知らされました。自家発電して建物に供給し災害時の医療体制に役立つようと、熱と電力を同時に供給できるコ・ジェネレーションシステムを導入しました。

非常用兼用型発電機3基で1,200kWを発電して買電と系統連係を行い病院で使用する電力量の半分を賄い、エンジンより発生する熱は暖房や給湯等に効率よく使用しています。

停電になると、発電のみの給電に切り替わり手術室・ICU(集中治療室)・救急外来・未熟児室・分娩室はもちろん、一般の診療部門・病室・事務所等の照明やコンセント等に給電され、また60,000LのA重油が地下タンクに備蓄されていますので一週間程度は十分発電ができ、災害時には災害拠点病院として医療体制に役立つようになっています。

尚、発電機室より外部へ騒音が出ないように防音には万全をつくしてあります。

財務課 施設担当 石井賢二



## コ・メディカル部門紹介

### 目の健康チェックをしてみませんか？

"オンギヤー"と生まれてから明暗を感じるだけで、周りのものがボンヤリとしか見えない赤ちゃんも、正常な眼であれば日がたつにつれ発達し、6~7歳で大人とほぼ同じ視力まで成長します。

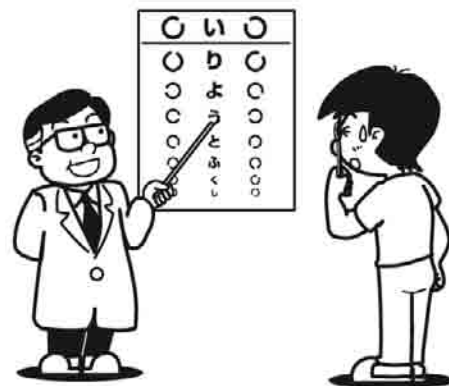
しかし、はつきり見えなくても異常に気付かず、見過ごされることがよくあります。早期発見・治療がなによりも大切です。そこで、眼の健康チェックをしてみませんか。

1. テレビを見る時、前に行って見ていませんか？
2. 眼を細めていませんか？
3. 根気がなく、すぐ飽きてしまいませんか？
4. 左右片方ずつ見てみると、どちらか見えにくいですか？
5. 斜視がないですか？
6. 近くのものを見る時、片方が内側へ寄っていませんか？
7. 頭をかしげて見ていませんか？
8. 視野のどこか隅が欠けていませんか？
9. 歪んで見えていませんか？

何か思いあたる方……是非眼科に相談して下さい。  
人間の一生にかかわる「眼」の健康管理。

視能訓練士は眼科領域における専門技術者として、乳幼児からお年寄りまで、世代を超えて皆様の大切な眼の健康を守るお手伝いをします。

「おかしいな」「何か変だな」と思ったら気軽に相談下さい。



視能訓練士 柿沼 由美子

# シリーズ やさしい在宅介護 その1

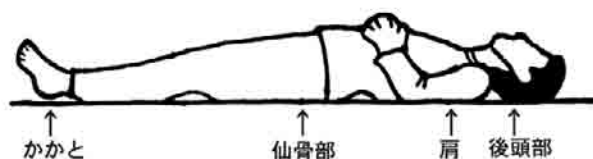
## 『褥瘡<sup>じょくそう</sup>をつくらないために家庭でできること』

### 褥瘡って何？

褥瘡は「床ずれ」とも呼ばれ、自分の力で身体を動かすことのできなくなった状態の人にできやすい皮膚のただれです。在宅介護において、褥瘡を作らないように予防することが大切です。

### 褥瘡のできやすい場所（図1）

1. 骨の出っ張りがある所
2. 体重がかかる所
3. 皮下脂肪が薄い所
4. ずれやすい所



(図1)

### 褥瘡を作らないための5ヶ条

1. **皮膚をこまめに観察しましょう。**  
身体的位置を変えた時に圧迫されていた部分に赤みがないか見ます。
2. **体位変換をしましょう。**（図2）  
身体の向きや姿勢を2～3時間毎に変えましょう。横向きにしたいときは、背中に座布団を置いて、両膝の間に座布団を挟みます。
3. **栄養をとりましょう。**  
栄養状態が悪いと床ずれができやすく、又治りにくくなります。タンパク質を含んだ好みの食品を食べさせてあげましょう。
4. **寝たきりの方の場合、ベッドを起こすとき30度までにしましょう。**  
身体がズリ落ちてしまうため、背中やお尻に摩擦やずれが生じて床ずれがおきてしまいます。
5. **円座の使用はやめましょう。**  
圧迫され血液の循環が悪くなります。



(図2)

看護部 松崎 清美 山崎 知子

お知らせ

### 院内講演会開催される

「生活習慣病について」講演者 病院長 荒井泰道

9月29日（日）午前10時より院内大会議室にて病院長の講演が開催されました。当日は伊勢崎佐波地域等の住民の皆様137名が参加されました。近年、生活習慣病に対する感心が高まってきており、参加者の間からも有意義な講演であったとの声が聞かれました。

今後も定期的に地域の皆様を対象とした院内講演会を実施していきたいと思っております。皆様の多数の参加をお待ちしております。

